

保護者様

横浜市立西前小学校  
校長 末松 隆一郎

## 平成 26 年度 横浜市学力・学習状況調査 本校集計結果について

保護者の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2月5日、6日に実施いたしました「平成26年度横浜市学習状況調査」について、本校の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

今回の集計結果は、本校の現2年生から中学1年生までの旧学年でのデータとなります。これらの結果からわかる本校児童の学習状況についての特徴や課題と、併せて実施された生活・学習意識調査についても、データから読み取れる子どもたちの生活の傾向を掲載しました。今回見られた課題をもとに、様々な面からの取り組みを進めていきたいと考えています。今後も西前小学校の児童のため、ご理解、ご協力をお願いいたします。

## 1 学力調査等からの実態把握

## (1) 学習面

- 国語 「読む能力」については、市平均を上回る学年は3学年で、市平均を下回る学年が2学年ある。「書く能力」については、4学年が平均を下回っている。「言語についての知識・理解」については、市平均を3学年が上回っているが、学年差もみられた。「話す・聞く能力」については、2学年が市平均を上回っているものの、下回っている学年が4学年ある。
- 社会 「知識・理解」については、市平均を上回る学年が1学年であるが、2学年においてほぼ市平均と変わらない数値である。「技能」は、2学年が市平均を下回っている。「思考・判断・表現」については、3学年が市平均を下回っている。
- 算数 「数学的な考え方」は、3学年が市平均を上回っている。「知識・理解」は、1学年が市平均を上回っているのみで、他学年は平均を下回っている。「技能」は、2学年が市平均を上回っているが、4学年が市平均を下回っている。
- 理科 2学年は各項目で市平均を下回っているが、他学年は、市平均をほぼ上回っている。「技能」に対する項目のポイントが市平均を下回っている学年が多い。

市平均との比較を教科の観点毎に見た場合、市平均を上回っている項目は3割程度であった。国語の「読むこと」「言語事項」は、昨年同様、市平均を上回る学年が増えてきている。算数の「数学的な考え方」においては、市平均を上回る学年が昨年度より増えている。今回これらの数値が上がってきた背景には、学習内容の定着に向けて学習展開を工夫したり、基礎・基本や既習事項の反復練習などを繰り返し行う時間を日々の学習活動の中に位置づけたりしてきたことなどがあげられるだろう。また、朝読書や読み聞かせを通じて子どもたちが落ち着いて学習に向かう習慣を身につけたり、言語活動の充実を取り上げ、考えたことを表現する力の育成に取り組んだり、互いの考えを交流する活動に重きを置いたりしてきたことなどがあげられるであろう。しかし、国語の「話すこと・聞くこと」が今年度下がってしまったことは残念であり、原因を分析すると同時に、国語以外の学習でも話す・聞く場面を設け、大切にしながら豊かなコミュニケーション能力の育成に向けて言語活動の充実を力を入れていきたい。算数の「数学的な考え方」は、昨年度に比べ伸びが見られる。算数科における言語活動を通して、伝え合う子どもの育成に力を入れてきたことの結果ではないかと考える。ただ、「知識・理解」においては、課題が見られる。学年の実態に合った学習展開や授業を工夫し、より学習内容の確実な定着に向けて学校全体で継続的に取り組んでいく必要があるだろう。

学習意識調査の結果を見ると、全体として学習に対する意識が高まっている様子もうかがえる。今後も子どもの実態、思いや願いに沿ったきめ細やかな指導の工夫を心がけ、子どもの好奇心や意欲を喚起し、自主性を育て、生きた学力を育てる学習活動を進めていくことが大切だと考える。そして、より一層の学力向上を目指していきたい。

## (2) 生活面

生活意識調査から本校の子どもたちについての傾向を抽出してみると、以下のようになる。<0内は市平均>

・家庭学習が10分以下	10%(10%)	・朝食を食べている	96%(96%)
・睡眠が8時間未満	22%(20%)	・読書が10分以下	22%(25%)
・自分からあいさつをする	86%(88%)	・学校の決まりを守っている	85%(92%)
・自分の考えを發表している	60%(66%)	・会話をして人と関わり合うのが好き	90%(91%)

これまでの生活意識調査では、家庭学習が少ない、睡眠時間が短い、読書時間が短い、という傾向が見られていた。家庭学習については、昨年度に比べ、10分未満の児童が減り、学校からの呼びかけや、各ご家庭の意識の高まり等により、家庭学習の習慣をつけるための努力が実を結んできている。一方で、10分未満の児童が1割いる。朝食についても9割強の児童が毎朝取っているが、引き続き100%になることを目指したい。睡眠時間は、学年が上がるにつれ短くなる傾向がある。1年生では8時間未満が1割程度であるのに対し、6年生になると半数近くの児童が8時間の睡眠を切っている。いずれの学年も市の平均より睡眠時間が少ない傾向にあるので、声かけを続けていきたい。読書量については、10分に満たない児童が昨年度よりも大幅に減っている。昨年度から司書教諭が常駐することになったことや、読書タイムや読み聞かせなどを通して、本に親しむ児童が増えてきたのではないかと考えられる。あいさつについては、昨年度より若干減っているの、さらに進んでできる児童が多くなるよう、朝のあいさつに継続して取り組んでいく。学校の決まりを守れていると回答した児童は昨年度とあまり変わらないが、市平均を下回っている。職員が共通理解を図りながらさらに結束して指導に当たっていききたい。自分の考えを進んで発表できる児童が昨年度と比べ減ってしまったのは残念であるが、学習の中でお互いに何でも言い合える雰囲気作りや、楽しんで取り組める授業づくりを目指し取り組んでいきたい。今年度も、「話したり、聞いたりしながら、人と関わるのが好き」と答えた児童が9割近くおり、「コミュニケーション能力の育成」をめざし、指導してきた結果と考えられる。

平成26年度 横浜市学習状況調査 各教科の観点別通過率

○1年生(現2年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	67.8%	71.2%	43.7%	51.3%	68.7%	33.3%
市平均	74.8%	72.9%	46.9%	55.9%	72.4%	35.6%

国語では、全体的に市平均のポイントを下回っている。基礎・基本の能力の充実を最重要課題とし、継続して基本的な事柄に取り組み、基礎的な学力の向上を図れるよう指導していきたい。

算数でも全体を通して市平均より下回っているため、国語同様、基礎的内容の繰り返しによる定着を図り、確実な力の定着に努めたい。

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	86.7%	77.9%	38.1%	81.7%	38.1%
市平均	87.3%	79.6%	40.0%	82.9%	40.0%

○2年生(現3年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	77.6%	80.7%	48.1%	65.3%	77.8%	46.5%
市平均	76.7%	82.5%	52.1%	59.9%	78.2%	44.0%

国語は、読む力が伸び、市の平均を上回っているのに対して、書くこと、言語についての知識・理解に課題がみられる。作文など、書くことの楽しさを味わわせながら、言語も含めて力をつけていきたい。

算数は、全体的に市の平均を下回っている。前学年までの復習に丁寧に取り組むとともに、毎日の学習の積み重ねを大切に、基礎・基本の定着に向けて指導していきたい。

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	62.4%	64.4%	35.9%	63.6%	35.9%
市平均	68.0%	70.0%	36.2%	69.2%	36.2%

○3年生(現4年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	81.2%	64.5%	44.1%	51.3%	62.7%	52.5%
市平均	77.0%	60.8%	50.6%	57.4%	61.9%	56.8%

<社会>

観点	知識・理解	技能	思考・判断表現	基礎・基本	活用
西前小	87.9%	66.4%	58.2%	77.1%	58.2%
市平均	82.7%	61.9%	60.7%	72.1%	60.7%

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	71.9%	67.9%	24.5%	69.6%	24.5%
市平均	68.3%	61.8%	23.0%	64.6%	23.0%

<理科>

観点	思考・表現	技能	知識・理解	基礎・基本	活用
西前小	64.8%	78.5%	73.2%	75.9%	64.8%
市平均	63.4%	76.2%	72.2%	74.2%	63.4%

全教科を通して、市の平均を上回っている。特に、技能や知識・理解に関して大きく上回っている教科が多い。

ただ、書く能力や思考・表現、活用など、応用力で課題が残っている。国語では、日記を毎日継続して書くこと。算数では自分や友達の考えを伝え合いながら考えること。社会・理科においても、自分たちで課題を作り上げ、予想・体験・結果・思考・まとめという学習の流れを大切にしながら、考える力を伸ばしていきたい。そのためにも、なんでも話し合えるような学級の雰囲気をつくり、みんなで話し合いながら応用力を高めていきたい。

○4年生(現5年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	61.8%	62.9%	55.8%	47.0%	60.6%	46.1%
市平均	63.2%	66.7%	56.7%	53.6%	64.2%	49.9%

<社会>

観点	知識・理解	技能	思考・判断表現	基礎・基本	活用
西前小	75.3%	67.2%	65.4%	70.3%	65.4%
市平均	75.4%	67.9%	67.1%	70.8%	67.1%

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	68.9%	53.8%	29.1%	60.3%	29.1%
市平均	67.9%	56.8%	35.4%	61.6%	35.4%

<理科>

観点	思考・表現	技能	知識・理解	基礎・基本	活用
西前小	52.6%	63.3%	55.4%	59.0%	52.6%
市平均	54.5%	69.9%	63.4%	66.4%	54.5%

全体的に市の平均を下回っている。どの教科においても基礎となる国語の読み取る力を伸ばしていくことによって、全体的な理解力を伸ばしていきたい。またどの教科も活用力、応用力に課題が見られるので、授業の中で考え方を自分の言葉で説明する場や書く場を増やすと同時に、最後までねばり強く考える根気強さや集中力などの内面的な強さも育てていきたい。理科では知識・理解や基礎・基本がしっかり定着していない結果となった。科学的な興味・関心を掘り起し、実験・観察の体験を重視し、予想や結果を丁寧にまとめながら、知識・理解の定着、考察する力を伸ばしていきたい。

○5年生(現6年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	55.1%	67.1%	54.3%	62.1%	62.7%	59.6%
市平均	63.3%	63.3%	49.3%	54.9%	63.8%	49.9%

<社会>

観点	知識・理解	技能	思考・判断表現	基礎・基本	活用
西前小	75.1%	66.8%	54.8%	70.5%	54.8%
市平均	75.9%	71.8%	54.5%	73.6%	54.5%

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	68.2%	63.9%	52.8%	65.8%	52.8%
市平均	75.8%	67.4%	46.1%	70.9%	46.1%

<理科>

観点	思考・表現	技能	知識・理解	基礎・基本	活用
西前小	49.4%	54.4%	65.2%	60.2%	45.7%
市平均	50.9%	57.3%	70.1%	64.5%	45.5%

国語は概ね市の平均を上回っているが、話す・聞く能力に関しては、大きく市の平均を下回っている。日々の授業で、一人ひとりが自分の考えをもち、互いの考え方を交流する時間が少なかった結果と思われる。算数では、数学的な考え方、活用が市の平均を上回っているが、その他は下回っている。社会や理科は、わずかに市の平均を下回っているものが多い。どの教科においても、基礎・基本、技能において、市の平均を下回っている。既習事項を使って考えたり、できるだけ多くの問題を解いたり、繰り返し練習する時間を大切にすることで、力がつくように考えられる。また、毎時間の授業で、自分の考え方をじっくり書く時間を確保することで、考える力が少しずつ身についてきている。各教科でのノート指導も大切に、次学年につなげていく。

○6年生(現中学1年生)

<国語>

観点	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能	書く能力	読む能力	基礎・基本	活用
西前小	65.3%	80.5%	54.4%	55.6%	72.8%	48.9%
市平均	68.6%	68.6%	50.5%	51.1%	71.0%	48.2%

<社会>

観点	知識・理解	技能	思考・判断表現	基礎・基本	活用
西前小	66.8%	65.3%	66.3%	65.9%	66.3%
市平均	68.6%	67.2%	68.6%	67.7%	68.6%

<算数>

観点	技能	知識・理解	数学的な考え方	基礎・基本	活用
西前小	78.1%	65.4%	36.3%	70.8%	36.3%
市平均	81.2%	66.8%	34.5%	72.9%	34.5%

<理科>

観点	思考・表現	技能	知識・理解	基礎・基本	活用
西前小	53.0%	73.9%	74.1%	74.0%	53.0%
市平均	48.3%	77.1%	71.7%	73.9%	48.3%

国語は、概ね市の平均を上回っている。特に、言語についての知識・理解・技能は、大きく市の平均を上回っている。日々の漢字指導や家庭学習を繰り返すことで、力がついたと感じている。算数では、数学的な考え方が市の平均を上回っている。毎時間の授業で、自分の考え方をじっくり書く時間や、互いの考え方を交流し、練り上げて深めていく時間を大切に取り組んできたことで、少しずつ力がついてきたように見受けられる。社会は、わずかに市の平均を下回っている。理科は、概ね市の平均を上回っている。どの教科においても、活用する力を育むためにノート指導を大切に、考え方を表現するように指導してきた。